

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.5.25 No.166 連絡先 FAX 042-555-1911



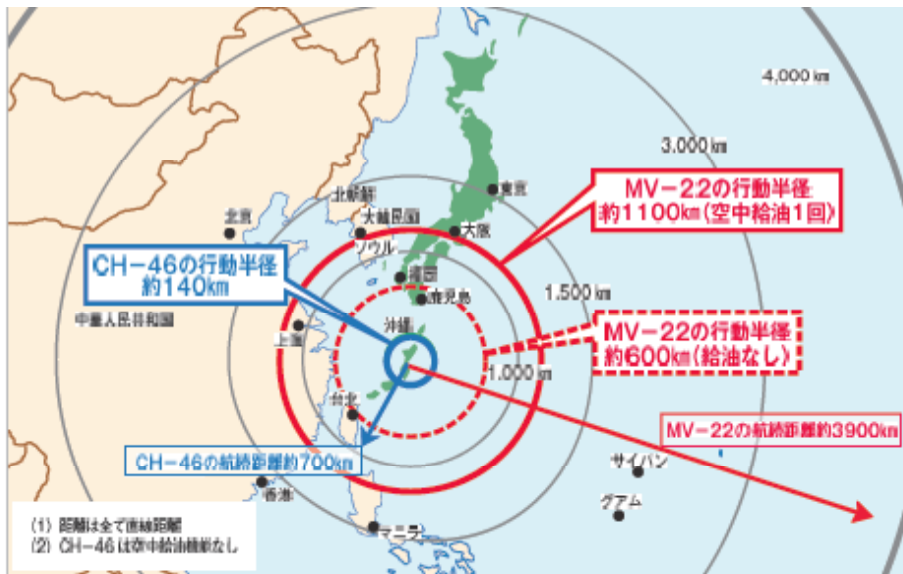
## 横田基地 座り込み 第50回 おめでとう！過去最高の130名参加



5月19日(日)は、横田基地撤去を求める座り込みの第50回行動日でした。心配された雨も避けてくれました。過去最高だった去年8月の102名を大幅に超える130名の参加者でした。歌声が響き、オカリナが奏でられ、参加者のトークがあり、これからもがんばろう

という座り込みになりました。椅子がたりなくて、ブルーシート席や立ち見もありました。

午前中は、会場周辺のお宅を訪問、アンケートの聞き取り調査もおこないました。



## 欠陥機オスプレイ

現在、普天間基地に12機  
今夏、12機追加 24機に  
嘉手納に CV22が配備か  
自衛隊 オスプレイ購入？

左図は防衛省発行の「MV-22 オスプレイ 米海兵隊の最新鋭の航空機」からです。普天間基地に配備されているCH46ヘリ24機を、すべてオスプレイにしますが、双方を比べると、こんなに違う、という図表です。

オスプレイはCH46に比べ

- ◆最大速度は 約2倍
- ◆搭載量は 約3倍
- ◆行動半径は 約4倍です。

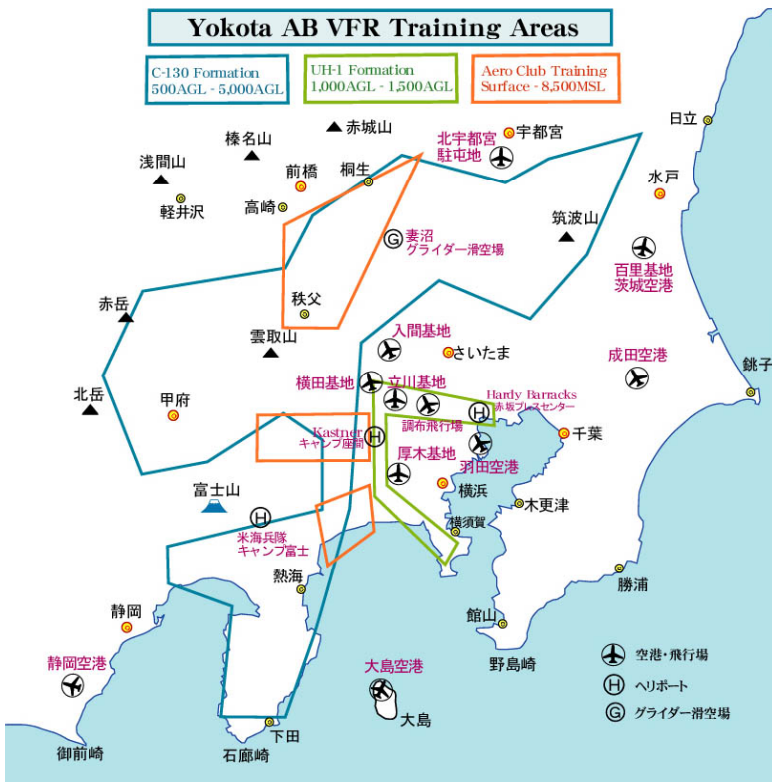
性能が良くなったと宣伝するほど、オスプレイの危険性は深まる感じがします。

オスプレイには「オートローテーション」(自動回転装置)という安全装置がありません。航空法では本来日本の空を飛行できません。オスプレイ配備撤回を！

### ■ 基本性能の比較

	MV-22	CH-46
最大速度	約520km/h	約270km/h
巡航速度	約490km/h	約220km/h
航続距離	約3900km	約700km
行動半径	約600km (兵員24名搭載時)	約140km (兵員12名搭載時)
輸送兵員数	24名	12名
搭乗員数	3~4名	3~5名
貨物(内部)	約9100kg	約2300kg
貨物(外部)	約5700kg	約2300kg
回転翼直径	約11.6m	約15.5m
最大飛行高度	約7500m	約3000m
自重	約16000kg	約7700kg
寸法	MV-22とCH-46の大きさはあまり変わりません。	

# 横田基地所属のC 130等が 関東平野をわがもの顔で飛行している



4月21日、米軍横田基地で「関東平野航空機空中衝突防止会議」が開かれました。米空軍第374空輸航空団の小冊子「航空機空中衝突防止のために」の一部をお知らせします。(左：横田基地所属C-130、UH-1、C-12の訓練空域、yokotajohoのブログより。下3機種)

## 【パイロット各位

この小冊子は、横田基地から75マイル内の飛行空域を飛行する米軍機のパイロット及びVFR(有視界飛行方式)で飛行する日本の航空機や横田エアロクラブ所属の飛行機のパイロットの皆様のために、相互の空中衝突回避の一助となるよう作成したものです。

横田基地周辺は、年間で15,000機以上の米軍機が往来しています。横田基地は西部の標高約3,000m級の連峰と東京湾の間の密集した首都圏の間に位置しています。このような条件下のため、年間を通じて激しい山岳波や極度の低雲高、悪天候による視界不良が発生しやすくなっています。

また東京近郊上空は、成田・羽田空港を離着陸する航空機で過密化した民間航空路で飽和状態になっています。

横田基地には、エアロクラブ所有の民間小型セスナ機をはじめ、C-130、C-12、UH-1ヘリコプター等の軍用機が常駐し運用されています。更に、B747、DC-10、L1011などの民間



航空機を含め、C-5、KC-10、C-17等の大型輸送機等数多くの航空機も定期的に飛来しています。

これらの大部分がIFR(計器飛行方式)で飛行している一方で、米軍機のC-130及びUH-1は関東地域において高頻度で高度1000フィート以下のVFR飛行を行っています。C-130は通常2~6機で先頭から最後尾まで最高約5マイル(約8km)の編隊を組んで飛行しています。このため、関東上空を飛行中にC-130を視認した場合は更にもう1機以上の後続機がある可能性があるため注意が必要です。

関東地域には多数の低空飛行経路が存在している為、また多数の米軍の低空での編隊飛行が横田基地の75マイル飛行空域圏内で行われているため、我々も航空機同士の接触の可能性を低減するために複数の安全策を講じています。この冊子は、航空機同士の接触の可能性が高い空域の情報を皆様を提供し、また、航空機が飛行する空域及び横田基地周辺空域に存在する飛行上の危険性を認識し、各パイロットが常に細心の注意を払い『目視確認し、回避する』ことで事故を未然に防ぐことを目的としています。】

とても横田基地の状況を表していると思います。東京近郊上空は、成田・羽田空港を離着陸する航空機で過密化した民間航空路で飽和状態になっています。とありますが、そこに年間で15,000機以上の米軍機が往来する横田基地があることがおかしいですね。日本の空をとりもどそう！